

決算報告書

(第9期)

自 令和2年 4月 1日

至 令和3年 3月31日

一般社団法人 輝水会

東京都世田谷区奥沢8-30-10

貸借対照表

令和03年3月31日 現在

一般社団法人 輝水会

(単位：円)

科 目	当年度	前年度	増減
I 資産の部			
1. 流動資産			
現金	41,204	0	41,204
普通預金	1,903,101	512,542	1,390,559
流動資産合計	1,944,305	512,542	1,431,763
固定資産合計	0	0	0
資産合計	1,944,305	512,542	1,431,763
II 負債の部			
1. 流動負債	0	0	0
短期借入金	0	31,372	△ 31,372
未払法人税等	338,600	70,000	268,600
前受金	2,000	0	2,000
預り金	10,210	0	10,210
仮受金	500,000	0	500,000
流動負債合計	850,810	101,372	749,438
固定負債合計	0	0	0
負債合計	850,810	101,372	749,438
III 正味財産の部			
1. 基金	6,000,000	6,000,000	0
基金	6,000,000	6,000,000	0
2. 一般正味財産	△ 4,906,505	△ 5,588,830	682,325
正味財産合計	1,093,495	411,170	682,325
負債及び正味財産合計	1,944,305	512,542	1,431,763

正味財産増減計算書

自 令和02年4月1日 至 令和03年3月31日

一般社団法人 輝水会

(単位：円)

科 目	当年度	前年度	増減
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
事業収入	2,314,295	608,600	1,705,695
年会費収入	85,000	93,000	△ 8,000
寄付金収入	8,000	94,000	△ 86,000
受取利息	9	4	5
経常収益計	2,407,304	795,604	1,611,700
(2) 経常費用			
事業費			
旅費交通費	427,130	192,830	234,300
通信費	17,638	24,241	△ 6,603
支払手数料	257,970	2,444	255,526
諸会費	8,000	17,000	△ 9,000
会議費	18,390	56,359	△ 37,969
事業費計	729,128	292,874	436,254
管理費			
支払報酬	530,000	435,000	95,000
消耗品費	88,844	28,234	60,610
保険料	26,500	10,410	16,090
銀行手数料	1,307	1,144	163
租税公課	10,600	41,800	△ 31,200
管理費計	657,251	516,588	140,663
経常費用計	1,386,379	809,462	576,917
当期経常増減額	1,020,925	△ 13,858	1,034,783

科 目	当年度	前年度	増減
2. 経常外増減の部			
(1) 経常外収益			
経常収益計	0	0	0
(2) 経常外費用			
経常外費用計	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0
法人税等	338,600	70,000	268,600
当期一般正味財産増減額	682,325	△ 83,858	766,183
一般正味財産期首残高	△ 5,588,830	△ 5,504,972	△ 83,858
一般正味財産期末残高	△ 4,906,505	△ 5,588,830	682,325
II 指定正味財産増減の部			
当期指定正味財産増減額	0	0	0
指定正味財産期首残高	0	0	0
指定正味財産期末残高	0	0	0
III 基金増減の部			
基金受入額	0	0	0
基金返還額	0	0	0
当期基金増減額	0	0	0
期首基金残高	6,000,000	6,000,000	0
期末基金残高	6,000,000	6,000,000	0
IV 正味財産期末残高	1,093,495	411,170	682,325

正味財産増減計算内訳表

自 令和02年4月1日 至 令和03年3月31日

一般社団法人 輝水会

(単位：円)

科 目	公益目的事業会計		法人会計	内部取引 消去	合計
	水中リハビリ	リハ・ スポーツ			
一般正味財産増減の部					
1. 経常増減の部					
(1) 経常収益					
事業収入	1,289,156	1,025,139	0	0	2,314,295
年会費収入	0	0	85,000	0	85,000
寄付金収入	0	0	8,000	0	8,000
受取利息	0	0	9	0	9
経常収益計	1,289,156	1,025,139	93,009	0	2,407,304
(2) 経常費用					
事業費					
旅費交通費	225,580	57,350	144,200	0	427,130
通信費	0	210	17,428	0	17,638
支払手数料	181,500	9,040	67,430	0	257,970
諸会費	0	0	8,000	0	8,000
会議費	0	0	18,390	0	18,390
事業費計	407,080	66,600	255,448	0	729,128
管理費					
支払報酬	0	0	530,000	0	530,000
消耗品費	13,957	22,392	52,495	0	88,844
保険料	0	0	26,500	0	26,500
銀行手数料	0	0	1,307	0	1,307
租税公課	0	0	10,600	0	10,600
管理費計	13,957	22,392	620,902	0	657,251
経常費用計	421,037	88,992	876,350	0	1,386,379
当期経常増減額	868,119	936,147	△ 783,341	0	1,020,925

科 目	公益目的事業会計		法人会計	内部取引 消去	合計
	水中リハビリ	リハ・ スポーツ			
2. 経常外増減の部					
(1) 経常外収益	0	0	0	0	0
経常収益計	0	0	0	0	0
(2) 経常外費用					
経常外費用計	0	0	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0	0	0
法人税等	307,500	31,100	0	0	338,600
当期一般正味財産増減額	560,619	905,047	△ 783,341	0	682,325

※ 事業種別ごとに貸借対照表を分けていない（正味財産を事業種ごとに区分していない）、ため正味財産の増減（損益計算）のみ事業種別を区分して表示している。

キャッシュフロー・計算書（間接法）

自 令和02年4月1日 至 令和03年3月31日

一般社団法人 輝水会

（単位：円）

科 目	当年度	前年度	増減
I 事業活動によるキャッシュ・フロー			
1. 当期一般正味財産増減額	682,325	△ 83,858	766,183
2. キャッシュ・フローへの調整額			
① 未払法人税の増減	268,600	0	268,600
② 売掛金の増減	0	0	0
③ 前受金の増減	2,000	0	2,000
④ 預り金の増減	10,210	0	10,210
⑤ 仮受金の増減	500,000	0	500,000
小 計	780,810	0	780,810
事業活動によるキャッシュフロー	1,463,135	△ 83,858	1,546,993
II 投資活動によるキャッシュ・フロー			
1. 投資活動収入	0	0	0
2. 投資活動支出	0	0	0
投資活動によるキャッシュフロー	0	0	0
III 財務活動によるキャッシュ・フロー			
1. 財務活動収入			
① 短期借入金収入	0	0	0
1. 財務活動支出			
① 短期借入金返済支出	31,372	△ 4,626	35,998
財務活動によるキャッシュフロー	△ 31,372	4,626	△ 35,998
IV 現金及び現金同等物の増減額	1,431,763	△ 79,232	1,510,995
V 現金及び現金同等物の期首残高	512,542	591,774	△ 79,232
VI 現金及び現金同等物の期末残高	1,944,305	512,542	1,431,763

財務諸表に対する注記

1 重要な会計方針に係る事項に関する注記

会計帳簿及び計算書類を作成するための基準として、「公益法人会計基準(平成16年改正基準、平成18年4月1日より施行)を採用している。

2 重要な会計方針に係る事項に関する注記

-1

(1) 資産の評価基準及び評価方法

棚卸資産
貯蔵品

最終仕入原価法によっております。

(2) 固定資産の減価償却の方法

① 有形固定資産

定額法によっております。なお、主要な耐用年数は次のとおりであります。

建物付属設備・・・6年

工具器具備品・・・4年～8年

② 無形固定資産

定額法によっております。なお、主要な耐用年数は次のとおりであります。

ソフトウェア・・・5年

なお、自社利用のソフトウェアについては社内における利用可能期間(主に5年)に基づいております。

(3) 引当金の計上基準

貸倒引当金

債権の貸倒れによる損失に備えるため、一般債権については貸倒実績率により、貸倒懸念債権については個別に回収可能性を検討し、回収不能見込額を計上しております。なお、当事業年度末における残高はありません。

(4) キャッシュ・フロー計算書における資金の範囲

現金及び3か月以内に現金となる預金

(5) その他計算書類の作成のための基本となる重要事項

① 消費税等の会計処理

消費税及び地方消費税の会計処理は税込方式によっております。

3 会計方針の変更

該当事項はありません。

4 基金及び代替基金の増減額及びその残高

基金及び代替基金の増減額及びその残高は以下の通りである。

科 目	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
基 金				
基 金	6,000,000	0	0	6,000,000
基金計	6,000,000	0	0	6,000,000
代 替 基 金				
代 替 基 金	0	0	0	0
基金計	0	0	0	0
合計	6,000,000	0	0	6,000,000

5 キャッシュ・フロー計算書の資金の範囲及び重要な非資金取引

(1) 現金及び現金同等物の期末残高と貸借対照表に掲記されている金額との関係は以下の通りである。

当期末		前期末	
現金預金勘定	1,944,305円	現金預金勘定	512,542円
預入期間が3か月を超える定期預金	—円	預入期間が3か月を超える定期預金	—円
現金及び現金同等物	1,944,305円	現金及び現金同等物	512,542円

(2) 重要な非資金取引は、以下の通りである。

当期末	前期末
現物により寄附を受けた資産はございません。	現物により寄附を受けた資産はございません。

6 重要な後発事象に関する注記

該当事項はありません。